

「会員規約」

第 1 条(目的)

NPO 法人タイプ LAB(以下「当法人」という)は、正会員、準会員との間に本規約を定め、これにより当法人の運営を行う。

第 2 条(会員の定義)

- (1) 正会員とは、親であることが条件であり、当法人の本活動の趣旨目的に賛同し、各種活動に可能な範囲で参加できるトレーナーや役員をさす。
- (2) 準会員とは、親であることが条件であり、当法人の趣旨目的に賛同し、各種活動に可能な範囲で参加できる個人の会員をさす。

* 20 歳未満のお子さんをご参加の場合、親御さんの会員登録が条件となります

第 3 条(入会)

入会申込をする場合、当法人のホームページより入会申し込み事項を記入し、規約に同意の上送信する。入会金は正会員への手渡し、ホームページからカード決済など各種支払方法*での支払いとなり、申込み事項を受領後、事務局が入会金の支払いを確認した日を以て入会の成立とする。

第 4 条(入会金及び年会費)

入会金は次のように定める。

- (1) 正会員 入会金 3,000 円
 - (2) 準会員(江戸川区内) 入会金 3,000 円
 - (3) 準会員(江戸川区外) 入会金 5,000 円
- 年会費は次のように定める。初年度は年会費無料とする。

- (1) 正会員 年会費 1,000 円(2年目より)
- (2) 準会員(区内外共に) 年会費 1,000 円(2年目より)
- (3) 毎年5月1日～5月末日までに、各種支払方法*で支払うものとする。
- (4) 年会費は2年目以降に発生します。
- (5) 年会費は当法人の運営費として受領し、便宜供与のないものとする。

支払方法*

- ①ゆうちょ銀行へ振込
- ②ホームページよりカード決済
- ③イベント参加時に正会員(トレーナー)へ現金払い
- ④PayPay 払い

第5条(入会の拒絶)

当法人は、入会申込者が次の各号に該当する場合は、入会を認めない場合がある。

- (1) 申込書に虚偽の事項を記載した場合
- (2) 入会申込者がかつて除名された者であった場合
- (3) 暴力団関係者または、反社会的勢力に与する者であった場合
- (4) 年会費を相談等もなく指定期限日を過ぎても未納の場合

第6条(会員資格及び有効期間)

- (1) 正会員、準会員の資格有効期間は、毎年4月30日までとする。途中入会の会員も同様とする。
- (2) 前項に定める有効期間は、会員から申出がない限り、満了の翌日から1年間延長するものとし、以後も同様とする。
- (3) 正会員、準会員が退会あるいは死亡した場合は、当該会員の会員資格は失われるものとし、第三者への資格継承はできないものとする。
- (4) 会員資格の譲渡、貸与、売買等を行うことはできない。

第7条(表決権)

総会は、当法人定款に定めるとおり正会員、または役員をもって構成し、準会員は議決権を有さない。

第8条(会員情報の変更)

- (1) 会員は、入会申込書に書かれた内容について変更があったときは、速やかにホームページの会員登録(変更)フォームよりその旨を当法人に通知しなければならない。
- (2) 前項の届出が無く会員が不利益を被った事柄に関し、当法人は一切の責任を負わないものとする。

第9条 (会員情報等の公開)

- (1) 当法人は会員情報を原則として外部に公開することはいたしません。
- (2) 取得した個人情報を本人の許可なしに第三者へ提供は行いません。
- (3) 本人から、収集した個人情報の開示請求があった場合、または開示した個人情報の訂正・追加・削除の請求があった場合は速やかに応じます。

(4) 法令の規定に基づき会員のプライベート情報やアクセスログに関する情報開示を求められたときは、必要に応じて情報を開示することがあります。

(5) 会員は当法人の上記対応が法令に従って行われる限りこれに異議をとなえないものとし、当法人は責任を負わないものとします。

第 10 条(会員資格の喪失)

会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 本人から退会の申出があったとき。
- (2) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。
- (3) 正当な理由なく会費を滞納し、催告を受けてもそれに応じず、滞納したとき。
- (4) 本規約に違反したとき。
- (5) 除名されたとき。

第 11 条(除名)

当法人は、会員が次のいずれかに該当する場合は、当該会員を除名することがある。

- (1) 当法人の定款等に違反したとき。この会員規約に違反したとき。
- (2) 他の会員の名誉、信用、プライバシー権、著作権等、その他の権利を侵害した場合。
- (3) 当法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (4) その他、当法人が会員として不適切と判断した場合。

第 12 条(退会)

会員は、当法人が別に定める退会届を提出することにより、任意に退会することができる。

第 13 条(抛出金品の不返還)

既に納入した入会金及びその他の抛出金品は、これを返還しない。

第 14 条(禁止事項)

会員は、当法人による活動にあたり、以下に掲げる行為を行ってはならない。

- (1) 他の会員、第三者もしくは当法人の財産及びプライバシーを侵害する行為または侵害する恐れのある行為。
- (2) 公序良俗に反する行為もしくはその恐れのある行為。
- (3) 当法人の運営・活動を妨げる行為及び信用を毀損する行為。
- (4) 営業活動や営利目的、またはその準備を目的とした行為。その他、不適切と判断されるすべての行為。

第 15 条 (免責)

当法人に関連して、会員が他の会員もしくは第三者に対して損害を与えた場合、または会員と他の会員もしくは第三者との間で紛争が生じた場合、当法人は一切責任を追わないものとし、当該会員は自己の費用と責任でかかる損害を賠償し、また、かかる紛争を解決するものとし、当法人にいかなる迷惑または損害を与えないものとします。

第 16 条(損害賠償)

- (1) 会員が本規約及び本規約に基づく諸規則に反し、またはそれに類する行為によって当法人が損害を受けた場合、当該会員は、当法人が受けた損害を当法人に賠償することとする。

(2) 会員資格を喪失した後の場合も、前項の規定は継続されるものとする。

第 17 条(会員規約の変更)

当法人は、運営のために必要と判断される場合、理事会や役員会の議決を経て、本規約を変更することがある。

以上